



【学校教育目標】 自分も みんなも大切にする 児童の育成

たかがみ ~われらの学校~

読書のススメ

本校では、子ども達の学力の向上と自立心や自己有用感を高めることを目的に、読書活動を推進しております。読書は、考える力や感じる力、表現する力など豊かな情操を育むと共に、思考力や想像力を高めるためにも、重要であると言われています。

しかし、近年は、テレビゲームやスマートフォンの普及の影響もあり、学年が進むにつれ、子ども達の読書量が低下しているとの報告もあり、本校においても同様の傾向が見られます。

昨年も、「朝読書」や年間を通しての「読書賞」の取り組みを行ってきましたが、本年度は、各学級に読書コーナーを設置し、児童一人一人が、自分だけの「読書の木」を作成していきます。読んだ本を個人カードに記録し、カード全てに記録ができた児童には、「読書賞」のシールを贈呈します。

また、今年度は、毎月1回、全校で「家読（うちどく）の日」を設定し、家庭でも読書をする習慣づくりをしてほしいと思っています。ぜひ、「家読の日」には、市の図書館を利用したり、読み聞かせや一緒に本を読んだりして、それぞれのご家庭の生活にあった方法で、一緒に読書を楽しんでみませんか。

家読って どうすればいいの？

「家読」は、お子さんと一緒に、読書をすることで、コミュニケーションを図ろうとする取り組みです。決まった方法やルールはありません。取り組みの例をいくつか紹介するので、ご家庭の生活に合った方法を見つけてください。

【取り組みの例】

- 家族みんなでテレビを消して、大人も子どもも好きな本を読む。
(10分程度でも有効です。)
- 読み聞かせをする。(大人が子どもに、子どもが大人に…どちらもOK)
- 物語に限らず、折り紙の本を読んで、一緒に折り紙を折ったり、歴史や図鑑など、興味のある本を見ながら、知っていることを話したりする。
- 大人が子どもの頃に読んだ本を、一緒に読む。

高神小では、月末の金曜日を、全校「家読の日」とします。
4月は、25日(金)が「家読の日」です。

写 真
(非公開)

高神小卒業生の絵本作家より 新入生へ

入学式の際、高神小卒業生の絵本作家さんの絵本が、高神地区社会福祉協議会より、新入生に贈呈されました。